

企画趣意書

日本産業衛生学会関東地方会 第 276 回例会

テーマ

シニア労働者活用における産業保健の課題と展望

日時 2017年2月18日(土) 12:50～17:00

会場 東京有明医療大学 大講義室

主催 日本産業衛生学会関東地方会

当番幹事 中野愛子(日本産業衛生学会関東産業看護部会長)

概要

1. 会議の名称：日本産業衛生学会関東地方会 第 276 回例会
2. テーマ：シニア労働者活用における産業保健の課題と展望

テーマ設定の背景

少子高齢社会が急速に進むわが国では、労働界においても生産年齢人口の減少とあわせて 45 歳以上の中高齢労働者および 55 歳以上の高齢労働者の割合が増加しています。厚生労働省は急速な少子高齢社会に対応するために 2013 年 4 月に高年齢者雇用安定法の一部を改正する法律を施行し、65 歳までの雇用を確保する措置を義務付けました。

しかし、高齢労働者の就労環境は厳しく、2014 年の労働力人口総数（6,587 万人）に占める 65 歳以上の者の割合は 10.6%（696 万人）と増加しているものの、65～69 歳の男性就業者の割合は 49.0%と、実際に就業している者は半数以下でした。また、就業をしていない 51.0%の者のうち約 2 割以上が就労を希望している状況にあります。

少子高齢社会を背景とした高齢労働者の活用が議論されていますが、高齢者は加齢に伴う心身機能の減衰、また労働適応能力についても個人差が大きく、一般的な年齢や性別を物差しとした視点だけではなく、健康状況や職務に対する完熟度、柔軟性など包括的な視点からのアセスメントによって適正配置を考えていく必要があり、人事・労務部門と協働しながら産業保健スタッフが専門的な立場から、高齢労働者の職務適応を支援することが重要となっていきます。

高齢労働者が職業生活を継続することの意味は、生活費の確保といった経済的な理由が大きな割合を占めていますが、一方、仕事を続けることは、生きがいや自己実現の手段の一つでもあり、仕事を通じて社会と接点を持つことで自分自身の存在意義を見出し、QOL を高めることにもつながっていきます。さらに事業場としても、不足している人材の補填だけでなく、高齢労働者の持つ熟達した仕事経験の伝承など、高齢労働者を生産活動に貢献できる人材として活用するための戦略が必要となってくる。

そこで、本会では、「シニア労働者活用における産業保健の課題と展望」をテーマとして、産業保健職としての支援あり方や高齢労働者のヘルスプロモーションといった視点だけでなく、経営戦略として高齢労働者を活用し、様々な対策を講じて安全な職場環境形成を目指している企業の実践報告、高齢労働者の特性をふまえたきめ細やかな支援を行っている産業保健スタッフの実践など、幅広い視点からの報告を含めて、シンポジストの先生方から現状や課題について話題提供を頂きます。

シニア労働者の活用のために産業保健スタッフがおさえておくべき最近の研究の動向や研究成果、実際の支援事例などの良好実践事例の共有を通して、効果的な支援のあり方や解決すべき課題についてディスカッションを深めていきたいと考えています。

3. 主催・共催：

主催 日本産業衛生学会関東地方会

共催 東京都医師会（予定）

4. 当番幹事：中野愛子（日本産業衛生学会関東地方会産業看護部会長・(株)日立製作所）

5. 会期：
2017年2月18日（土）
6. 会場：
東京有明医療大学 大講義室
〒135-0064 東京都江東区有明 2-9-1
7. 参加費：学会員 1,000円 非学会員 4,000円
8. 参加予定者数： 200名
日本産業衛生学会会員が8割、そのほか2割程度。
産業医や産業看護職、企業の衛生管理者など産業保健スタッフが主な参加者。
そのほか、大学教員(医学部や看護学部)や研究者等も参加予定。
9. 内容：
13:00 ～ 13:30 講演1：「高齢労働社会への産業保健における課題と対策」
公益財団法人大原記念労働記念労働科学研究所 酒井 一博 先生
13:30 ～ 14:00 講演2：「高齢男性の退職移行期における健康への意識・ヘルスプロモーション」
東京有明医療大学看護学部教授 掛本 知里 先生
【休憩 14:00 ～ 14:10】
14:10 ～ 14:40 講演3：「65歳を超えても安全で健康的に働ける職場づくりを目指して - 高齢労働者活用に関する経営戦略」
㈱ボルテックスセイグン 代表取締役 武井 宏 先生
14:40 ～ 15:10 講演4：「高齢労働者活用における産業保健スタッフによる支援」
サンデン・ビジネスエキスパート(株) 総務人事部 帆苺 なおみ 先生
【休憩 15:10 ～ 15:25】
15:25 ～ 16:25 デイスカッション
10. 日本医師会認定産業医研修会 生涯研修専門単位申請予定
日本産業衛生学会産業保健看護専門家制度申請予定
11. 参加申し込み・問い合わせ先
東京有明医療大学看護学部看護学科 地域看護学
〒135-0063 東京都江東区有明 2-9-1
メールアドレス：sangyo-kango@tau.ac.jp

以上